

明暗サイクルが関与するヤコウチュウの配偶子形成

北村 拓海, 遠藤 浩

(金沢大・院自然)

【要旨】 ヤコウチュウは通常栄養体の二分裂によって増殖するが, 散発的に配偶子を形成することが知られている。しかし配偶子形成への分化がランダムに起こっているのか, 何らかの刺激により誘導されているのかわかっていない。そこで, 明暗条件 (L:D = 12:12) で培養し発生段階を観察すると, 明期の開始時には配偶子形成過程の初期段階が多数観察された。このことは, 配偶子形成細胞への分化が暗期のうちに始まっていることを示しており, 暗期の開始が分化誘導の引き金になっていることを強く示唆している。